

第4回熊本県災害時交通マネジメント検討会 道路利用者への幅広い情報提供を確認

第4回熊本県災害時交通マネジメント検討会が8月7日、WEB形式による会議で行われた。令和8年熊本地震における被害・復旧状況、現在の交通状況、各機関の取り組みについて情報を共有。道路利用者への幅広い情報提供（道路情報板、HP、SNS等）を進めていくことを確認した。

同検討会では、災害発生時における道路交通の確保と円滑な交通マネジメントの実現に向けて、国土交通省九州地方整備局が中心となって関係機関が連携し、交通への影響軽減に取り組んでいる。同日は、同整備局道路部や熊本県土木部道路都市局をはじめ、警察や有識者などの関係者20人が出席した。

今後の取り組みについては、①お盆期間を考慮した出控えの呼びかけ、広域迂回の再周知、TDM（オフピーク移動や相乗りの呼びかけ）②現地調査等を踏まえた信号現示の調整や路面補修等のピンポイント対策による交通の円滑化③時間帯別の混雑状況など、細やかな分析に基づく利用者への周知④公共交通の運休状況を踏まえた対応などを関係者間で連携しながら検討することを申し合わせた。